

教育委員会のつうしんぼ



本市では「静岡市教育振興基本計画（※1）」に基づき、これからの社会を生き抜く力を持った「たくましくしなやかな子どもたち」を育てるために、多くの事業を展開しています。

これらの事業は、学識経験者などのご協力のもと、毎年、点検及び評価を行っており、公表もしています。いわば、教育委員会が作成した自分自身への「つうしんぼ」です。ここでは、その内容を一部ご紹介します。

「たくましくしなやかな子どもたち」を育てるための 令和4年度静岡市教育委員会の取組

点検・評価における ●…最重要事業、●…重点事業



<方向性1>知・徳・体のバランスがとれ、社会の変化にも対応できる力を持った子どもたちを育てる

- ◇学力向上
 - 学力向上支援策の推進
 - …学力向上専門家委員による授業支援等
 - 学校図書館の機能強化と図書館における学校への支援の充実
 - …本とICTを効果的に活用する授業の実施等

- ◇豊かな心・感性の育成
 - 道徳教育の充実
 - 人権教育や生命を大切にすることの推進
 - 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の活用推進
 - …自然体験活動指導者やキャンプリーダーの育成等

- おらが郷内河内コミュニティ体験事業の推進
- 清水和田島自然の家長寿命化事業
- 子ども読書活動の推進

- ◇健やかな体づくり
 - 体力向上支援策の推進
 - 食育の推進
 - …栄養教諭と担任によるICTを活用した食育指導等
 - 薬物乱用防止教育の推進
 - 保健教育等の充実

- ◇一人ひとりのニーズに対応した教育・支援
 - こころのケアの推進
 - 特別支援教育の推進
 - …特別支援教育支援員等の配置による支援の充実等
 - 困難を抱える子どもたちへの支援
 - …プレスクールの実施など日本語支援体制の強化等

- ◇静岡市民を育てる教育(シチズンシップ教育)
 - 副読本（しずおかだいき、わがまち静岡）の活用
 - 豊富な社会資源を活用した郷土を知る教育への取組
 - お茶で学ぶ静岡型人材の育成
 - しずおか学の推進
 - …「地域ならではのしずおか学」の実践等

- ◇社会の変化に対応する教育
 - 情報モラル教育の推進
 - 英語力の向上
 - …GETの支援によるコミュニケーション力向上等
 - ユネスコスクール活動の推進
 - 豊富な自然を活かした環境教育の推進

- ◇特色ある幼児教育の推進
 - 幼児教育の推進

- ◇特色ある高等学校教育の推進
 - 科学教育の推進
 - 多様な教育ニーズ等への適切な対応

<方向性2>家庭・地域との一層の連携により、子どもたちを育てる

- ◇家庭との連携による教育・支援
 - OPTAとの連携の推進
 - 早寝・早起き・朝ごはん教育の実践
- ◇地域との連携による教育・支援
 - 地域学校協働活動推進事業（学校応援団活動の推進、放課後子ども対策の推進）
 - …推進員配置による学校支援及び人材養成講座の実施等
 - コミュニティ・スクールの推進
 - …未導入校への指導助言や各地域団体への事業周知等
- ◇企業等との連携による教育・支援
 - 地域・企業等と連携したキャリア教育の推進
 - 民間企業等と連携した学習の充実

- ◇生涯学び続けられる環境の確保
 - 社会教育の推進（生涯学習推進大綱に基づく施策の推進）
 - …生涯学習施設等での講座の開催
 - 社会教育の推進（図書館運営の充実）
 - …「つくおび！」キャンペーンの開催等
 - 社会教育の推進（文化の振興と発信）
 - …企画展実施、公式SNSによる積極的発信等
 - 社会教育の推進（スポーツ推進計画の推進）
 - …学校等体育施設の活用等



学校図書館とICTを活用した探究的な授業【学校図書館の機能強化と図書館における学校への支援の充実】



学級担任とGETによる授業風景【英語力の向上】

<方向性3>信頼される学校づくりを進める

- ◇質の高い人材の確保
 - 優秀な教員の採用
 - しずおか教師塾の運営
 - …教師としての「芯」をつくるカリキュラムの充実等
 - 学校訪問の実施
- ◇教職員の資質向上と多忙解消
 - 教職員の実践的指導力を高める研修の推進
 - 静岡型教職員多忙解消プログラムの推進
 - …スクール・サポート・スタッフの継続配置等
- ◇開かれた学校の運営
 - 開かれた学校の運営
- ◇学校間の連携
 - 静岡型小中一貫教育の推進
 - …「静岡型小中一貫教育」の全校実施等
- ◇安心・安全の確保
 - 地域の実情を踏まえた防災教育の推進
 - …防災アドバイザーによる授業、地域防災訓練への参加等
 - 通学路交通安全プログラムの推進
 - 健康面での安心・安全の確保
 - 自転車安全教育の推進

<方向性4>良好な教育環境の整備を進める

- ◇教育機会の均等の確保
 - 私立学校の振興
 - 経済的な支援の実施
 - 奨学金貸与事業の実施
 - 奨学金給付事業の実施
 - …奨学金制度周知、適切な貸与及び給付等
 - セーフティネットの整備
 - 非常勤講師を活用した複式授業の解消
- ◇学校の適正配置
 - 小中学校適正規模・適正配置の推進
 - …「静岡市小・中学校の適正規模・適正配置方針」の改定等
- ◇市アセットマネジメント方針に則った教育施設の整備
 - 学校施設の整備
 - …トイレリフレッシュ事業、空調設備設置等
 - 学校給食施設の整備
- ◇ICT環境の整備
 - 学校教育におけるICTの活用
 - …1人1台端末の配備完了、教職員への研修等

令和5年度点検・評価報告書より

令和4年度実施事業を対象にした評価の一部をご紹介します。

(評価基準 S:目標以上の成果 A:目標どおりの成果 B:目標以下の成果 C:成果なし)

特別支援教育の推進 【自己評価A、学識評価A】

- ◆自閉症・情緒障害学級に非常勤講師9名を配置し、学習指導を充実（前年度から3名増員）
- <子どもたちの姿>
- ・児童が問題に対して教員とともにじっくり考える時間や話し合いをする時間が増えた。
 - ・問題を解く際、つまづきに対してすぐに指導してもらい、問題に正解することで、喜びと次の問題へ取り組み意欲が生まれた。
-
- 担任(奥)と非常勤講師(手前)で授業を分担

- 【第2期教育振興基本計画期間の総括】
 - 平成29年度に全国初の巡回指導に重点を置いた肢体不自由通級指導教室を開設
 - 家庭、福祉、教育の連携による支援体制を充実
- 【第3期教育振興基本計画に引き継がれる課題・計画】
 - 医療的ケア児判定会議（仮称）を開催し、必要看護職員の数を決定
 - 医療的ケア看護職員の不在に対応するため、全校兼務できる医療的ケア看護職員を1名配置

困難を抱える子どもたちへの支援 【自己評価A、学識評価A】

- ◆小学校のサポートルームを拡充し、教室以外の学校内での居場所づくりを推進（R3：6校→R4：10校）
- <延べ利用回数>3,632回
- <子どもたちの姿>
- ・教室以外の学校内での居場所を確保し、個々の特性等に合わせて過ごすことができるようになった。
 - ・教室で過ごすことに抵抗があってもサポートルームには登校でき、不登校の未然防止となったケースが見られた。

- 【第2期教育振興基本計画期間の総括】
 - 訪問教育相談員がかかわった児童生徒の71.9%に改善が見られた。
 - 日本語通級指導と訪問指導を拡充し、生活言語に加え、学習言語を視野に入れた指導体制を整えた。
- 【第3期教育振興基本計画に引き継がれる課題・計画】
 - 教室以外の居場所づくりや学ぶ機会の保障のため小学校に配置する教育相談員を拡充し、引き続きサポートルームを設置
 - 学校生活に必要な日本語習得のための指導・支援の継続実施

地域学校協働活動推進事業 【自己評価A、学識評価A】

- ◆「学校応援団」と「放課後子ども教室」を一体化し、学校と地域の連携・協働を推進
- 放課後子ども教室は楽しいですか。<楽しい理由>
- 楽しくない2.2% 未回答2.3%
- あまり楽しくない4.3%
- ままああ楽しい22.3%
- 楽しい68.9%
- <楽しい理由>
- ・イベントがあったり、友達と遊べるから。
 - ・そこでしかできない遊びができるから。
- <楽しくない理由>
- ・やりたいことがなくてつまらない。
 - ・一緒に行く友達がないから。

- 【第2期教育振興基本計画期間の総括】
 - 26中学校区に「統括的な推進員」、81校に「地域学校協働活動推進員」を配置し、学校と地域との連携・協働体制づくりを推進
- 【第3期教育振興基本計画に引き継がれる課題・計画】
 - 「学校・地域ひとつなぎ」コーディネーター養成講座を引き続き実施し、学校と地域の連携・協働活動を推進する人材を発掘・育成
 - コミュニティ・スクールとの一体的な実施を見据えながら事業を推進

学校教育におけるICTの活用 【自己評価A、学識評価A】

- ◆全市立小中学校の児童生徒及び教員へ1人1台端末の配備を完了
- <取り組み>
- ・従来の紙の資料や黒板を中心にやってきた教科指導に、ICT活用を組み合わせることで児童生徒一人ひとりの学びの充実を繋げた。
-
- ICTと紙を使った意見交換

- 【第2期教育振興基本計画期間の総括】
 - OGIGAスクール構想に基づき、1人1台端末やネットワーク環境等のハード面の整備、教員のICT活用指導力の向上等のソフト面の充実
 - 小学校から高校までのネットワーク環境未整備世帯へのモバイルルーター等の貸出を開始し、誰一人取り残さない学びの保障を図った。
- 【第3期教育振興基本計画に引き継がれる課題・計画】
 - ネットワーク増強など通信環境の更なる改善
 - 教員のICT活用の支援体制の継続的な整備
 - 活用型情報モラル教育教材「GiGAワークブックしずおか」の活用

学識経験者からのご意見

- 静岡市の教育としての強みや特色を整理し、評価対象事業の精選・焦点化を図るとともに、当該事業の進捗状況を確認し課題を析出し改善策の検討・立案を行うこと。
- 第2期計画の成果と課題を第3期計画でより活かすために、教職員や市民の方々に対して教育施策への理解を促すような工夫が必要である。また、担当課を超えた施策立案の推進、市長部局との連携・強化が重要である。
- 平時から感染症の流行や災害等の不測の事態等のリスクに備え、子どもたちの学びを確実に保障し得る環境を構築すること。

令和5年度点検・評価報告書は市公式HPで公開しています

今年度は、令和4年度事業について点検・評価を行い、市議会9月議会で報告しました。過去の報告書も含め、市公式ホームページで公開しています。
https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_006596.html



静岡市HP ▶

(※1) 認定こども園、幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校を中心として、子どもたちを取り巻く家庭や地域社会、これらを支える行政を含めた教育に関わる取組を計画しています。平成27(2015)年度から令和4(2022)年度までの8年間の計画を、第2期静岡市教育振興基本計画として位置付けています。令和4(2022)年度は、第2期計画の最終年度であるため、第2期計画期間の総括も行いました。令和5(2023)年度以降の計画を第3期静岡市教育振興基本計画として策定し取り組んでいます。